

成果指標				
成果指標	診療報酬収入			
指標設定の考え方	医療用機械器具の導入により、患者に有効な治療を行うものであるが、診療内容等について関係機関の審査を得るため、診療報酬収入を指標として設定した。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	40283	35464	0	0
実績	36042	39164	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	患者さんに万一のことがないよう医療器機の点検には万全を期す必要がある。器機購入に当たっては、他の医療機関からの情報を収集し、費用対効果の高いものを購入する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	治療行為に必須の事業であり、安全で安心できる治療のために日ごろから機材の点検、整備を適正に行いながら機械器具更新時期を的確に判断する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題